

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかななどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

番号・名前 木戸 康生

1. 自分の立てた問い

「通りですごくいいものを拾える」とはどういうことか

2. なぜその問いが気になったか

一番最後の場面のアダムくんの言った、「すごくいいもの」の意味が気になったから。

3. 考察とその根拠

ゼブラは通りで怪我をしてしまったから左手を使うことを避けていたけれど、ウィルスン先生との出会いによって段々左手が使えるようになっていき、次第に左手の怪我への恐怖が薄れていったのだと思います。

「通りですごくいいものを拾える」の通りは、以前ゼブラが怪我した場所で、以前までは避けて通っていて場所なので、わざわざそこを通る理由はこのままの自分ではなく新しい、怪我への恐怖を克服した自分になるためだと思います。

4. 問いの答え(結論)

「すごくいいもの」は怪我への恐怖を克服した新しい自分

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかなどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

12番・七瀬 柚香

1. 自分の立てた問い

ウィルスンさんはどうしてレオンさんのために毎年「私のために作ってくれたすばらしい贈り物」を探しに行くのだろう。

2. なぜその問いが気になったか

この問いがどうゆう事を聞きたいのかというと、どうしてウィルスン先生はわざわざ学校へまで行って贈り物を探しに行っているのだろう、という事です。べつにただの贈り物であるならば、誰かに貰ったものである必要はないはずです。ウィルスン先生は、この「誰かが私のために作ってくれたすばらしい贈り物」をレオンさんに届けたいと思っています。それはなぜかという疑問が私の中で浮かんだったので、この問いを選びました。

3. 考察とその根拠

まず、ウィルスン先生が夏にレオンさんの元へ贈り物を届けるのは、すばらしいアーティストになっていたであろうレオンさんに、素敵なアートを見せてやりたいという気持ちがあるからだと思います。ウィルスン先生は「夏休みだけ、レオンのために贈り物を探しに行くことにしているんだ。」と言っているのです、ウィルスン先生はレオンさんのためだけに「自分のために作ってくれたすばらしい贈り物」を毎年探しに行くのです。そのアートがどうして自分のものではなく、自分のために作って貰ったアートなのか、どうして自分が貰うアートなのにレオンさんのために毎年その贈り物を探しに行くのか、と考えた時に私は、ウィルスン先生は昔レオンさんにアートを贈ってもらったことがあるのかなと考えました。なぜなら、「誰かが私のために作ってくれたすばらしい贈り物を持って、2, 3時間、レオンという名前のそばにおいてから自分のアトリエに持って帰る。」と書いてあるのを見て、贈り物をももらった時の嬉しい気持ちを長い時間かけて伝えたいのかなと思ったからです。そして、その思いを伝えたいと思ったきっかけは昔に貰ったレオンさんのアートだったんじゃないかと考えました。レオンさんから贈り物を貰ったときのうれしかった気持ちをまた感じたいと思い、それをさらにレオンさんに共有したいと考えたんじゃないか、と考察しました。

4. 問いの答え(結論)

ウィルスン先生はどうしてレオンさんのために毎年「私のために作ってくれたすばらしい贈り物」を探しに行くのだろう。という問いの答えは、「贈り物をももらった時のうれしい気持ちをレオンさんに共有したいと思ったから。」だと思います。

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかななどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

番号11・名前 山口真奈

1. 自分の立てた問い

アダムは自分がけがをした道をまた歩いてみたときどのような気持ちだったのか。

2. なぜその問いが気になったか

私もアダムと同じく骨折をしてしまって病院に行って痛いのに思いっきり手を伸ばされたり、リレーの選手に選ばれて楽しみにしていた運動会もあまり競技に参加できなくなってしまったりと沢山痛い思いや、悲しい思いをして私はけがをした道を中学生になるまで歩けなかったのにアダムは自分がけがをした道を歩いていたのでどういう気持ちなのかなと気になってこの問いを選んだ。

3. 考察とその根拠

私はアダムはやはり少しトラウマで怖い気持ちもあったと思うが、前向きな気持ちで歩いたと思いました。なぜなら、最後の場面でアダムは「何かいいものが拾える気がしてさ」と言う風に言っていてこれは、もう以前のように走ることはできないかもしれないがここで新しい何かを見つける事ができそうという意味ではないかなと思ったからです。最後に、アンドリアが「少しは明るい人生を歩めそうな感じになってきたわね。」と言っていて何かいいものとは新しいこれからのアダムの人生で過去のことは忘れようという気持ちがアンドリアにも伝わったのでこういうことを言ったのではないかなと思いました。

4. 問いの答え(結論)

アダムは、けがをした場所を歩いてみて最初は少し怖いなどのトラウマな気持ちがあったけれどこれから変わろうという前向きな気持ちで道を歩いた。そして、その道を歩いて以前のように走ることはできないが、これからできることを探すというのが最後にアダムが言った「何かいいものが拾える気がしてさ」という言葉に込められていると思う。

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかななどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

4番・村木蒼彩

1. 自分の立てた問い

ウィルスンさんが美術講師になる目的は何だったのか

2. なぜその問いが気になったか

P264の13行目でウィルスンさんは、ゼブラに名前を尋ねた後直ぐに「美術教師を雇ってくれそうにないか」と聞いています。これを見て私は、前々から何か「美術講師」というこの仕事でしか果たせない目的があったのではないかと思い気になったので、この問いを立てました。

3. 考察とその根拠

まず、この問いの答えを導く大きな手がかりとなる文が、P271の3行目からの一文にありました。これはウィルスンさんがゼブラへ宛てて書いた手紙の一部です。ここを見て、ウィルスンさんがフランクリン通りにやって来た理由は、親友への贈り物を探すためだった事が分かります。

もうここで問いの答えが出てしまっているように思えますが、私はこれだけが目的ではないと思いました。きっとこれが美術講師になった最大の目的なのだと思いますが、本当に贈り物を探すだけならどこかのお店に行き何かを買うことだって出来ます。

つまり、私が気になるのは、何故ウィルスンさんは短期の「美術講師」という仕事に就こうとしたのかということです。

そこでこの問いの答えとなるような文を探した結果、P270の2行目からウィルスンさんが親友について語っている重要な文を見つけました。この文から、ウィルスンさんと親友はベトナムに居た頃の親友であり、共に絵を描くことが好きだったのが分かります。

ここから私は「美術」である理由と「講師」である二つの理由を考えました。

まず「美術」である理由は、親友に美術の贈り物をしたかったということだと思いました。ウィルスンさんが親友を「素晴らしいアーティストになっていただろう」と言っているぐらいなので、親友が美術が好きだったのは間違いないでしょう。ウィルスンさんは何か特別な美術の贈り物をしたかったのだと思います。

そして、「講師」である理由は、ウィルスンさんが誰かと共に絵を描きたかったからだと思いました。ウィルスンさんと親友は絵が好きな者同士、かつては共に絵を描いたりしていたのだと思います。しかしそんな親友が居なくなってからウィルスンさんは孤独を感じ、「講師」という形で子供達と美術に触れたかったのだと思います。

4. 問いの答え(結論)

ウィルスンさんが美術講師になった最大の理由は親友への贈り物を探すためでした。しかし、ここから更に、何故彼が短期の「美術講師」という仕事をやりたかったのかを考えた結果、理由は主に二つあると思いました。一つは親友は美術が好きだったから親友に何か美術の贈り物をしたかったということ、もう一つはかつて親友と共に絵を描いた頃のように、また誰かと共に絵を描きたかったからということです。

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかななどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

3番・水本健太

1. 自分の立てた問い

なぜゼブラの特別心が引かれるものがヘリコプターなのだろうか

2. なぜその問いが気になったか

この年の男の子たちの心の引かれるものはたくさんあると思うが、なぜゼブラは真っ先にヘリコプターを選びそして描いたり作成したりしたのか気になったから。また、ウィルスンさんはヘリコプターで怪我を負ったと思うが、なぜそれでもゼブラはヘリコプターを作成したのか不思議に思ったから。

3. 考察とその根拠

もともと、ウィルスンさんはベトナムで怪我をして、その怪我とヘリコプターに対して深い傷を負っていると思う。それはゼブラも同じで、ころんで左手を怪我したことは悪い思い出になっていると思う。しかしゼブラは最初に右手か左手を選ぶときに、あえて左手を選んでその絵を描いた。つまり、ゼブラは自分の傷をウィルスンさんに伝えたい、共有したい、そしてウィルスンさんと分かち合いたい、そう思っていて、そしてわざとヘリコプターを描いたのではないかと考えられる。

4. 問いの答え(結論)

ゼブラの心が引かれるものではなく、故意にヘリコプターを選んで描いたり作成したりした。

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかなどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

09・田中遼

1. 自分の立てた問い

ウイルスン先生は講座を通じてゼブラに何を言いたかったのだろうか。

2. なぜその問いが気になったか

ウイルスン先生がゼブラをなぜ美術講座に誘いゼブラの描いた絵をレオンケラーのための贈り物に選んだのか知りたかったから。

3. 考察とその根拠

ゼブラがいつも暗く、医者に以前のようにもう走れないだろうと言われたことを気にしている様子だったから、以前の自分と重なり、彼に前を向いて生きて欲しかった、つまり、可能性を見せてあげたかったからだと思う。

4. 問いの答え(結論)

自分も同じような経験をして、体が不自由になっても思い出したくない過去があったとしても、自分のように前を向いて生きていけば人生は絶望的ではなく、まだまだやれることがあるということ、諦めないということの大切さ、人生は自分の気分次第で楽しくなるといって、そしてゼブラの秘めた可能性をがあるということを信じて言いたかったのだと思う。

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかなどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

05番・西山千智

1. 自分の立てた問い

なぜ「時々」ゼブラの首からつっている左手が痛みだすのだろう。（気持ちと関係？）

P.264 L.15

2. なぜその問いが気になったか

本文を読むと、ゼブラはひどい事故に遭ったことが読み取れる。そこで左手が今でも痛む、というのは理解できる。ただそれがなぜ「時々」なのか、ひどい事故に遭ったのだから、いつも痛んでもおかしくないじゃないか、と思った。本文ではその「時々」とはどんな時なのか（例えば：字を書くとき、走るとき など）書いていなく、気になった。

3. 考察とその根拠

○まず私の問いが書いてある本文の周りを読んでみ、そのあと本文を読み返したが、左手が痛みだすことについては恐らく P.264 L.15 にしか書いていない。

○そこでゼブラが何か自分の手について話しているパートをピックアップした。

→・「ある朝、ウィルスンさんは生徒に、右手か左手を書くようにといった。ゼブラはけがをしたほうの手を描いた。脂汗がにじみ、体が震えてくる。」 P.268-269 L.21-2

・「二本の指がこわばったまま曲がっている。奇妙でみっともない手だ。ところが驚いたことに、今見るとちゃんとした手に見えた。」 P.269 L.7-9

・「そして最後に、ボタンをハンドルの位置につけようとしたとき、左手も使っていることに気が付いた。曲がったままだった二本の指が少しだけ伸びている。」 P.269 L.4-6

・『「お医者さんは、少し良くなってきてるって言ってた。」』 P.270 L.7

○このピックアップした文章と本文の内容から、「手が動くようになった」ことはゼブラの気持ちがどういう形であれ変化（ここではおそらくポジティブに変化した）したことに関係しているといえる。なぜならウィルスンさんの講座を受けたこと、ウィルスンさんとの出会いや授業で習ったこと、課題などを通して、ゼブラに変化がみられるから。

○手が良くなることがゼブラの変化に関係しているなら、手が悪くなる（痛くなる）のもゼブラ自身（気持ちなど）に関係している可能性が高いと思われる。

↓ じゃあなぜ「時々」痛くなるのか 可能性

①普通に何かすると痛いけど、それをわざわざ筆者が書いていないだけ。

→もちろんこの問いを考察するにあたって、この可能性も十分考えられる。本文には時々左手が痛みだす、としか書いていないが、もしかしたら具体的に何かする（字を書く、走るなど）と痛くなるのかもしれない。ただそれが書いていないだけ。

②事故のことを思い出すとき

→ある意味トラウマ。とても好きだったことをしている途中で事故に遭い、それが原因で好きなことができなくなってしまった。しかも生活にも支障がある。トラウマにならないはずがない。だから何かのはずみで事故のことを思い出すときに、痛み出す可能性もある。

③動物のことを考える時

→これは②をもっと具体的に詰めた内容。なんだかこのお話には動物が良く出てくる気がした。実際ゼブラは事故があったフランクリン通りに来ると、わしになったように感じると言っている。そしてなぜかわざわざ本文にゼブラが「想像の授業」で悲しく暗い小鳥の話をしたことが書いてある。考えすぎの可能性もあるが、一つの可能性としてはあり。

④気持ちが拒絶し、体が反応している

→本文を読むに、事故は相当ひどいものであったが、足が治るほどの時間は事故からたっている。だから手も治ってもおかしくない気もする。あだゼブラ自身が事故のことを思い出すことを拒絶している。実際本文でゼブラは事故以来フランクリン通りを歩いたことはなかったと言っている。だから体の状態として手は動かせるけれど、体が動かそうとすると気持ちが拒絶し、痛みにつながっているのかもしれない。

4. 問いの答え(結論)

「事故のことを思い出すとき」

①が答えだと考察した身として拍子抜けすぎるから、①ではないと信じたい。

結果的に②を選んだが、③は②に入るので、OK。

②と④は似ているようで似ていないが、④も自分的には好きな考察。

睦月十九日 第132回「問いを考察する」

自分が立てた問いを自分の力で解決する。

①本文の中で問いと関係があるところはどこかピックアップする。

②問いの前後を読み、問いの答えやヒントを探す。

③ヒントをもとに、自分はどうか考えるか考えて論じる。

④根拠をきちんと書いたか、論はきちんと通っているかなどを推敲する。

⑤提出する。

全部合わせて500字以上を目安にすること。

8番・高根眞実

1. 自分の立てた問い

4. なぜゼブラが特別に心惹かれるものというお題でヘリコプターを使ったのか

2. なぜその問いが気になったか

ヘリコプターはゼブラには直接深く関係しているものではないのにも関わらずわざわざ選んだことを疑問に感じたから。

3. 考察とその根拠

ヘリコプターを作る理由はウィルスンさんに自分に興味を持ってもらいたかったからではないかと考える。

ゼブラがウィルスンさんと会ってから、ゼブラは腕のことや過去などウィルスンさんにとっても興味を持っている。そして夏休みの特別講座ではウィルスンさんのアートの技術や、想像力について学び、自分の腕に対する見方が変わったことも本文中に書かれている。

(p.269 l.9)

これらのことからゼブラはウィルスンさんから受けた影響をウィルスンさんに返したいと思ったのではないかと思った。そしてゼブラが考えた一番ウィルスンさんに影響を与えられる方法というのがヘリコプターをテーマにした作品を作ることだったのだと思う。

4. 問いの答え(結論)

ゼブラはウィルスンさんから受けた影響を自分もウィルスンさんに与えたいと思い、特別に心惹かれるもののお題でヘリコプターを描いた。